



杉田玄白記念 公立小浜病院広報誌

iki iki いきいき

Pick Up!

・新看護部長ごあいさつ ・支援物資寄贈への御礼 ・新任Dr.紹介

vol.24

令和2年7月発行



病院 理念

地域住民の皆様とともに歩み、愛され、信頼される病院

基本 方針

- 1) 杉田玄白の進取の精神を受け継ぎ、良質・最新の医療を提供します。
- 2) 医療連携を推進し、中核病院として地域のニーズに応えます。
- 3) 安全・安心な医療サービスに努めます。
- 4) 公共性に配慮しつつ、健全な経営をめざします。
- 5) 教育・研修を充実させ、優れた人材を育成します。

看護部長に就任しました



看護部長
中村 ひとみ

4月1日付けで看護部長を拝命致しました。コロナ禍で日本全国が混乱する中での就任。私にとっては何もかもが初めてで、分からないことだらけ…。手探りで物事を進める毎日でした。福井県内でも連日感染者発生の報道がありましたが、嶺南地域では感染拡大に至らなかったことが幸いでした。このように誰もが大変な状況の中で、感染防止に取り組み、協力してくださった地域の皆様、ご自身のことよりも私たち医療従事者のことを気遣い、声をかけてくださった患者様、登校日の貴重な時間を使って応援メッセージを送ってくださった生徒さん、たくさんの物資を届けてくださった企業や個人の方々…。そして現場には、使命感を持って各々の業務に携わる病院職員の姿がありました。目には見えないけれど、

人と人との繋がりやあたたかい心、大きな力を感じ、これらは迷い立ち止まる私の背中を強く押してくれました。ここに深く感謝致します。

さて、当院は地域の中核病院として住民の皆様の健康を支えています。社会環境の変化が著しい中で、私たちは今までやってきたことを踏襲するのではなく、「看護はどうあるべきか」「看護は何をしなければならないのか」を追求し、絶えず看護を進化させていかなければならないと考えています。

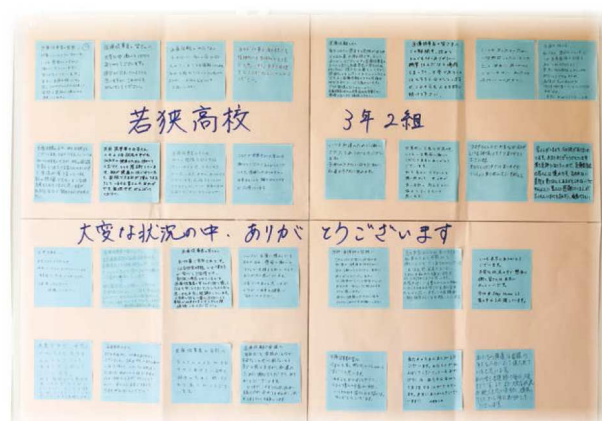
私は、看護職は患者様やご家族の「生活」、更には「人生」に関わる尊い職業であると思っています。よって職員は、そのことに責任感と誇りを持つこと、そして、確かな知識や技術と共に看護の心を育み、心のこもった看護を行うことを忘れず、責務を果たさなければなりません。そして、これからは私たち看護職が、看護の対象である全ての方々に丁寧であたたかい看護をお届けしたいと思います。

看護部長職に就いてまだ僅かですが、2020年は、これからも続く私の長い看護師人生において決して忘れることのできない、かけがえのない年になりそうです。

支援物資寄贈への御礼

新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的にマスクや消毒液等が不足し、当院におきましても大変困った状況となりました。しかしながら、国・県や各市町、各医師会や企業、さらには地域の皆様からも医療物資を寄贈いただき、難局を乗り切ることが出来ました。皆様のご厚意に対しまして、職員一同心より御礼申し上げます。寄贈いただきました物資は、大切に使用させていただいております。また、最前線で診療にあたっております医療従事者に対しましての激励のメッセージや、地元企業や地域の皆様をはじめ、県外の企業からの差し入れもいただきました。重ねて御礼申し上げます。

今後も皆様のご期待に応えられるよう、職員一丸となって邁進してまいります。



明日から使える(?)

目に関する豆知識

4月より眼科常勤医として赴任しました、柿本宙志と申します。当院眼科の常勤医は長い間不在でしたので、不便に思われている方も多いと思います。関連病院である福井大学病院まで紹介をするケースもありました。今後は常勤医として、当院にて治療が完結できるように出来る限り対応させていただきます。もちろん必要に応じて関連病院への紹介も速やかに行ってまいります。

Q1.

ここで突然ですが、目に関する豆知識を紹介したいと思います。

人間の5感は「視覚(目)」「聴覚(耳)」「嗅覚(鼻)」「触覚(皮膚)」「味覚(舌)」ですが、このうち「視覚」の占める割合はどれほどでしょうか？



A1. 『屋内照明のガイド』(照明学会編 電気書院 1980)によると、「視覚」87%、「聴覚」7%、「嗅覚」3.5%、「触覚」1.5%、「味覚」1%だそうです。細かな数字については諸説ありますが、少なくとも人間の情報の約80%は目から入るといわれています。人生を豊かに過ごすためにも、自分の目は大切にしなければなりません。

Q2.

80歳以上の方の白内障(図1)の有病率はどれほどでしょうか？

A2. 厚生科学研究班は100%と報告しています(手術不要な初期の混濁も含む)。お年を重ねると必ずかかる白内障。眼科を受診したことがないご高齢の方で、「最近目がかすんで見えにくい」という方は是非一度受診してみてはいかがでしょうか。白内障手術で見え方が改善するかもしれません。



さて、皆様は以下のA～Dの中でどの病気を怖いと感じますか？

A

症状を自覚しやすく、
受診が遅れても治療可能な病気

B

症状を自覚しやすく、
受診が遅れると治療困難な病気

C

症状を自覚しにくく、
受診が遅れても治療可能な病気

D

症状を自覚しにくく、
受診が遅れると治療困難な病気

AやCは治療可能と書いてあるので、BやDと比べると怖くはないでしょう。BとDを比べてみるとどうでしょうか？ Bは症状を自覚しやすいので気になれば病院を受診すると思いますが、Dは症状を自覚しにくいのであまり病院を受診することはないと思います。しかしDは受診が遅れると治療困難…怖いですね。これを目の病気に当てはめると、白内障(図1)はA、網膜剥離(図2)はB、そして緑内障(図3)はDに該当します。網膜剥離は「視野の一部分が見えなくなってきた」など、派手な症状を伴いますが、緑内障は見えづらさ等の自覚症状が出た時にはかなり末期的な状況であることも少なくありません。実際に緑内障は日本での失明原因の第1位です。白内障は手術によって完治が期待できますが、緑内障は点眼や手術で眼圧をコントロールし、なるべく視神経にダメージを与えないようにする治療を行います。40代以上の20人に1人は緑内障と言われており、かなり罹患率が高い病気だと言えます。40代以上の方でご心配な方は眼科の受診をお勧めします。

図1

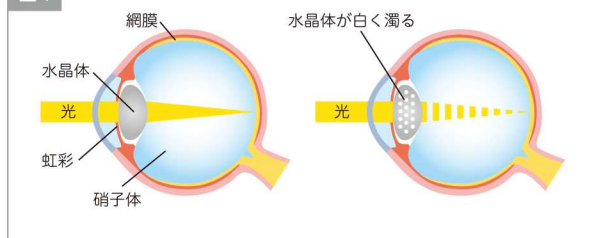


図2

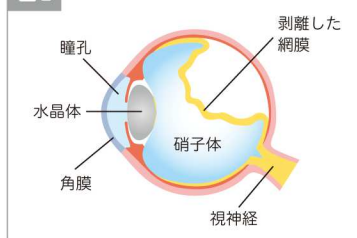
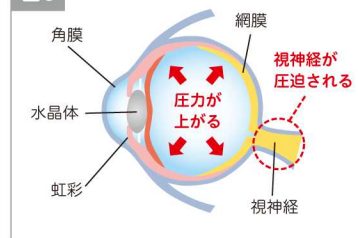


図3

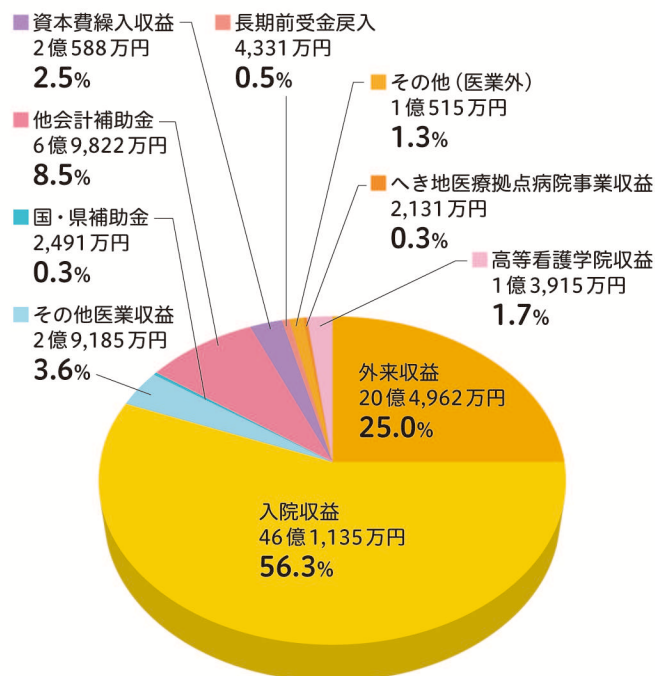


令和2年度小浜病院事業会計予算

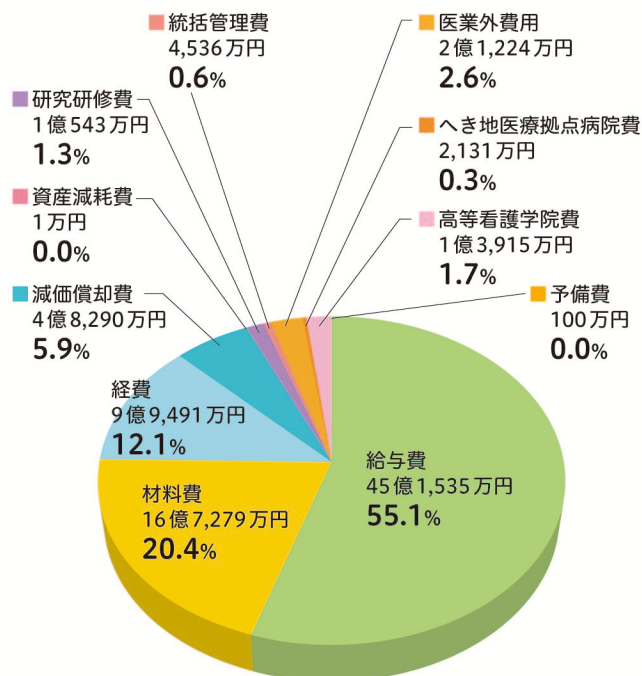
令和2年3月26日に開催された病院組合議会において、令和2年度予算が可決されました。

1 | 収益勘定

〈事業収益〉81億9,045万円



〈事業費用〉81億9,045万円



- 外来収益 外来医療収入
- 入院収益 入院医療収入
- その他医業収益 文書料、室料差額、健康診断、予防接種料等の収入
- 国・県補助金 国、県からの運営補助金収入
- 他会計補助金 構成市町からの運営負担金収入
- 資本費繰入収益 構成市町からの企業債(借入金)元金償還額に対する負担金収入
- 長期前受金戻入 償却資産取得に伴う補助金額からの減価償却額見合い分の収益化
- その他(医業外) 財産使用料、施設利用料等の収入
- へき地医療拠点病院事業収益 へき地巡回診療、運営補助金収入
- 高等看護学院収益 学生授業料、構成市町運営負担金等の収入

- 給与費 職員に対する、給料、手当、法定福利費、賞与引当金等の費用
- 材料費 薬品、診療材料、給食材料等の購入費用
- 経費 電気、上下水道、賃借、委託、修繕等の費用
- 減価償却費 償却資産に係る減価償却費用
- 資産減耗費 償却資産に係る除却費用
- 研究研修費 学会出張等の研究研修費用
- 統括管理費 病院組合事務局運営の費用
- 医業外費用 借入金利子返済等の費用
- へき地医療拠点病院費 へき地巡回診療運営に要する費用
- 高等看護学院費 高等看護学院運営に要する費用
- 予備費 用途を限定しない予備の費用

2 | 資本勘定

〈資本的収入〉8億3,818万円

- 補助金 国、県からの施設整備(資産購入)補助金収入
- 企業債 施設整備(資産購入)に係る企業債(借入金)収入
- 固定資産売却代金 固定資産の売却収入
- 修学資金貸付金返還金 修学資金貸付金の返還収入

〈資本的支出〉14億1,790万円

- 建設改良費 施設整備(資産購入)に要する費用
- 企業債償還金 企業債(借入金)元金償還費用
- 修学資金貸付金 修学資金貸付費用
- 予備費 用途を限定しない予備の費用

当院に新たに赴任された 先生方を ご紹介します

内 科

ふく おか よし とも
福岡 良友 先生



4月より福井大学医学部附属病院より赴任して参りました。出身は鯖江市です。大学病院勤務時には嶺北の様々な地域で診療を行っていましたが、嶺南での診療は初めてになります。小浜に来てからまだ日は浅いですが、のどかで過ごしやすい地域であると感じています。私は循環器領域を専門としており、特に狭心症や心筋梗塞などに対するカテーテル治療を行っています。少しでも嶺南地域の医療にお役に立てるように努めますので、よろしくお願い申し上げます。

内 科

みや ほら こう すけ
宮原 孝輔 先生



4月より福井大学医学部附属病院より赴任しました。内科の中でも循環器領域を専門としております。息切れや胸痛、動悸はもちろん、循環器領域外の疾患も対応しておりますのでお気軽にご相談ください。少しでも地域の皆様に貢献できるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

内 科

ふく もと ゆう た
福本 雄太 先生



4月から内科に赴任となりました福本雄太と申します。生まれが小浜で嶺南育ちなので故郷に帰ってきて働くことが出来ました。昨年までは勝山病院、その前は福井県立病院に勤務していました。新たな病院でいろいろと不慣れなこともあります。精一杯努力していきたいと考えております。よろしくお願い致します。

救急総合診療科

つじ もと よし ひさ
辻本 佳久 先生



はじめまして。4月より赴任しました辻本と申します。生まれてからずっと嶺北で過ごし、初めて嶺南で過ごすことになりました。さっそく豊かな自然とおいしい料理に出会え、自分の性に合っているところだなあと日々感じております。嶺南の皆様が安心して暮らせるよう精進してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

小児科

まつ お せい や
松尾 星弥 先生



4月より福井県立病院から赴任してまいりました。石川県出身ですが、福井大学へ入学して以来、福井県にお世話になっています。小浜ののどかな雰囲気に癒されながら、日々の診療に励んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

内 科

しま だ まさ ゆき
島田 真行 先生



越前町、おおい町と赴任し、この春から小浜で勤務することになりました。どんな悩みにも道を示すことができ、どんな患者さんにも力になれる、そんな医師を目指し日々励んでいます。内科医として様々な病気の診療をしていますので、是非気軽にご相談いただければと思います。よろしくお願いいたします。

内 科

やま もと あり さ
山本 有紗 先生



はじめまして。4月より福井大学医学部附属病院 第二内科より赴任いたしました、山本有紗と申します。専門は消化器内科で、生まれも育ちも福井県ですが、嶺南の地での勤務は初めてです。日々笑顔を忘れず、少しでも地域の皆様のお役に立てるよう精進してまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

内 科

よね だ ふみ や
米田 史哉 先生



4月より京都大学循環器内科より赴任してきました、米田史哉と申します。生まれも育ちも大学も島根で、初期研修から京都大学です。福井県には今回初めて訪れることになりましたが、早くも小浜の風光明媚な景色と豊かな土地柄に魅せられています。半年間という短い任期ですが、何卒よろしくお願いいたします。

精神科

さか い ひで ゆき
坂井 秀至 先生



4月に京都大学医学部附属病院より赴任しました。小浜の地にはこれまで一度も足を踏み入れたことがありませんでしたが、海の幸、山の幸に大変恵まれた地域であり、引っ越しの為に何度か行き来するうちに、すぐにとて好きな土地になりました。皆様のお役に立てるよう日々精進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

外科

ふじ た くに ひろ
藤田 邦博 先生



この4月より福井循環器病院から異動にて着任いたしました。福井医科大学卒業28年目の外科医、福井市出身、生粋の福井県人です。重度のサウナーで、入れない日が続くと体調不良に陥ります。小浜の良いサウナをご教示ください。(濱の湯と高浜町の湯っぶるは入湯済みです。)

外科

かげ やま しょういち
影山 詔一 先生



高知県出身です。昨年アメリカ留学から帰国したばかりで、日本の美味しい食材に感謝してばかりです。地域に根ざした標準的な医療を提供したいと考えております。よろしくお願いいたします。

外科

わた なべ みち お
渡辺 倫夫 先生



4月より外科に赴任しました。3月までは豊岡病院の救命救急センターに勤務しておりましたが、診療科が変わったため、改めて気を引き締め勉強し直しております。趣味は登山、スキー、バイクツーリングなどで、2年前にキリマンジャロに登りました。よろしくお願いいたします。

整形外科

しお たに たくみ
塩谷 匠 先生



4月より整形外科に赴任しました塩谷と申します。小浜市の出身で、高校卒業以来久しぶりの里帰りとなりました。昔と街並みの変化を感じるところもありますが、住み慣れた小浜に戻ったことを嬉しく思います。整形外科医として、この地域の医療に役立てるよう精進してまいりますので、よろしくお願いいたします。

脳神経外科

た い かつ ひで
田井 克英 先生



はじめまして、脳神経外科の田井と申します。京都府綾部市の出身です。福井大学を卒業し、大学病院、越前市の中村病院での勤務を経て、小浜病院に赴任いたしました。若狭小浜地域の診療に少しでも貢献できるよう、日々精進していきたく思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

産婦人科

か とう ゆ り
加藤 優里 先生



福井大学医学部附属病院より赴任した、産婦人科専攻医2年目の加藤優里です。出身は福井県で、この小浜病院で生まれました。親の転勤で幼少期に小浜を離れましたが、約20年ぶりに小浜に帰ってくることになり、ご縁を感じております。まだまだ未熟者ですが、日々精進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

眼科

かき もと ひろ し
柿本 宙志 先生



昨年度までは毎週月曜日に非常勤で勤務していましたが、4月より福井大学医学部附属病院より常勤医として赴任しました。眼科の常勤医は長い間不在でしたので、不便に思われていた方も多いと思います。今後は白内障手術を中心に地域に貢献できるように努めてまいります。眼に関することで気になることがありましたら、何でもお気軽にご相談下さい。

研修医

すず き しん ご
鈴木 伸吾 先生



はじめまして。2年間小浜病院でお世話になります、鈴木伸吾です。出身は千葉県で、大学時代は出雲にいました。大学入学以前は会社員をしていました。少し年齢が高めの研修医ですが、自慢の体力で小浜の皆さんのお役に立てるように頑張りたいと思います。

研修医

まつ もと けん じ
松本 憲治 先生



はじめまして。研修医1年目の松本憲治と申します。出身は兵庫県で、大阪の大学を卒業して小浜にまいりました。趣味はスポーツです。小浜には昨年一人旅で初めて訪れて、海がとてもきれいで、自然も豊かで素晴らしい所だと思いました。まだまだ至らない点もあるかとは思いますが、若狭地域の医療に貢献できるよう日々努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

研修医

やす だ こう じ
安田 光晃 先生



小浜病院で研修させていただくことになりました、安田と申します。大阪出身で、大学時代は奈良にいました。海辺の町に住むのは初めてで、美しい夕日も潮風も、何もかもが新鮮です。趣味はグルメ開拓、ジム通い、読書です。皆様のお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。